

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
鶴ヶ島市	鶴ヶ島市	平成23～27年度	平成23～27年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成 年度)	目標 (割合※1) (平成 年度) A	実績 (割合※1) (平成 年度) B	実績B/目 標A※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%	
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載
 ※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載
 (生活排水処理)

指 標	現 状 (平成22年度)	目 標 (平成28年度) A	実 績 (平成28年度) B	実績B/目 標A※3	
総人口	69,880	70,000	69,987	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	43,222	50,689	52,383	103.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	61.9 %	72.4 %	74.8 %	122.9%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0 %	0 %	0 %	0 %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	13,486	10,434	9,184	88.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	19.3 %	14.9 %	13.1 %	-
未処理人口	汚水衛生未処理人口	13,172	8,877	8,420	94.9%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載
 「-」の理由…数値がマイナスになってしまうため。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの		生活排水対策	鶴ヶ島市	・家庭等から排出される汚濁負荷量削減のため、啓発活動等を実施する。	H23～H27	広報やロビー展示の際に、補助金制度を利用した合併浄化槽への転換を推進した。
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの		浄化槽設置整備	鶴ヶ島市	・浄化槽の下水道認可区域外における生活排水による公共水域の汚濁を軽減するため、個人設置型の合併処理浄化槽の設置を進める。	H23～H27	・合併処理浄化槽への転換実績 H23 : 1基 H24 : 1基 H25 : 4基 H26 : 1基 H27 : 2基 合計 : 9基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

目標設置基数 13基

浄化槽設置整備事業である合併処理浄化槽の設置基数は、目標設置基数に達することはできなかった一方で、公共下水道については目標を達成した。

また、未処理人口は、公共下水道の接続により大幅に減少している。

未達成な項目があるため、改善計画書を別添のとおり作成する。

(都道府県知事の所見)

(生活排水処理)

鶴ヶ島市は、目標年度において公共下水道は目標を達成したが、大きく増加した公共下水道の影響で合併処理浄化槽は目標よりさらに人口が減少してしまい、目標を下回った形となった。

結果的に、汚水衛生処理率は6.8ポイントの改善、未処理人口は4,000人以上減少と、大きな成果を上げている。

浄化槽の整備基数は5年間で9基と振るわなかった。

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
鶴ヶ島市	鶴ヶ島市	平成 2 3 ~ 2 7 年度	平成 2 3 ~ 2 7 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績B /目標A
排出量	事業系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t %
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	t	t	t %
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 2 2 年度)	目 標 (平成 2 8 年度) A	実 績 (平成 2 8 年度) B	実績B /目標A
総人口				
公共下水道	汚水衛生処理人口	%	%	%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率			
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	%	%	%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率			
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	13,486	10,434	9,184
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	19.3 %	14.9 %	13.1 %
未処理人口	汚水衛生未処理人口			-

※目標未達成の指標のみを記載

2 目標が達成できなかった理由

広報やロビー展示の際に合併処理浄化槽転換の補助金制度のPRを促したが、目標を達成することができなかった。
また、市民だけではなく、県内及び市内の浄化槽設置業者へのPR不足が原因であった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成32年度まで

平成28年度から合併浄化槽補助金制度の補助金額が拡大したため、単独浄化槽と汲み取り便槽の使用世帯へ、浄化槽設置業者や浄化槽整備業者及び、埼玉県環境検査研究協会と協力し、個別に文書を送付することで転換を進めていく。

(都道府県知事の所見)

鶴ヶ島市は、依然として8000人以上の未処理人口を抱えているため、今後とも、既存の単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換を推進する必要がある。

上記の方策をとることにより、汚水衛生処理人口の増加が図られることが期待できる。

埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、一層の努力をお願いしたい。